

2025 年 9 月 18 日
株式会社日本政策金融公庫

食品産業の景況DIはマイナス値が継続

～ 仕入価格DIは高止まり、販売価格DIはプラス値継続も、販売数量DIはマイナス値で推移 ～
＜ 食品産業動向調査(令和7年7月調査) ＞

日本政策金融公庫農林水産事業は、「食品産業動向調査（令和7年7月調査）」を実施し、令和7年上半期の食品産業の景況、経営発展に向け取り組みたい課題等について調査しました。

調査結果のポイントは以下のとおりです。

【 食品産業の景況 】

- 令和7年上半期の景況 DI（▲6.0）は、前回（令和6年下半期）から 4.2 ポイント低下しました。令和7年下半期見通しの景況 DI（▲4.7）は、上半期実績から 1.3 ポイント上昇しましたが、引き続きマイナス値となりました。
- 令和7年上半期の仕入価格 DI（80.8）は、前回から 3.5 ポイント低下しましたが、引き続き高い水準で推移しています。販売価格 DI（55.1）は、前回から 3.9 ポイント低下しました。販売数量 DI（▲16.5）は前回から 4.8 ポイント低下し、マイナス値が継続しています。業種別にみると、仕入価格 DI は飲食業（96.9）で最も高く、次いで小売業（90.6）、製造業（82.8）、卸売業（71.2）の順となりました。販売価格 DI は飲食業（82.8）で最も高く、次いで小売業（81.1）、製造業（52.9）、卸売業（49.3）の順となりました。販売数量 DI は製造業、卸売業、小売業においてマイナス幅が増加しました。
- 令和7年上半期の雇用判断 DI（32.5）は、前回から 5.7 ポイント低下しました。令和7年下半期見通しの雇用判断 DI（36.7）は上半期実績から 4.2 ポイント上昇しました。
- 令和7年通年見通しの設備投資 DI（10.1）は、前年（令和6年通年見通し）より 7.7 ポイント低下しましたが、プラス値を維持しました。

【 経営発展に向け取り組みたい課題等について 】

- 今後の経営発展に向け取り組みたい課題は、製造業では「商品・生産物の見直し、開発」と回答した割合が最も高く、次いで「人材確保」となりました。卸売業、小売業、飲食業では「人材確保」と回答した割合が最も高く、次いで「人材育成」となりました。

■詳細は、添付のレポートをご参照ください。

食品産業動向調査（令和7年7月）

～目次～

- I 食品産業の景況について P3～10
- II 今後の経営発展に向け取り組みたい課題等について P11

○調査概要

- 調査時期：令和7年7月
- 調査方法：調査票による郵送アンケート及びインターネット併用調査
- 調査対象：全国の食品関係企業^(注1)（食品製造業、食品卸売業、食品小売業、飲食業）^(注2)
6,822社

（注1）主な調査対象は国産の農林水産物を原材料として使用または商品として取り扱う食品関係企業。

（注2）以降、本資料においては、「食品製造業」を「製造業」、「食品卸売業」を「卸売業」、「食品小売業」を「小売業」として表記。

- 有効回答数：2,325社（回収率34.1%）
（内訳）

郵送回答：1,301社、インターネット回答：1,024社

製造業：1,465社、卸売業：605社、小売業：191社、飲食業：64社

※グラフに表示している構成比は小数点第2位以下を四捨五入しているため、各種合計値が合わない、または100にならないことがある。

＜お問い合わせ先＞

日本政策金融公庫 農林水産事業本部 情報企画部（担当：本松、垣尾）TEL：03-3270-5585

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

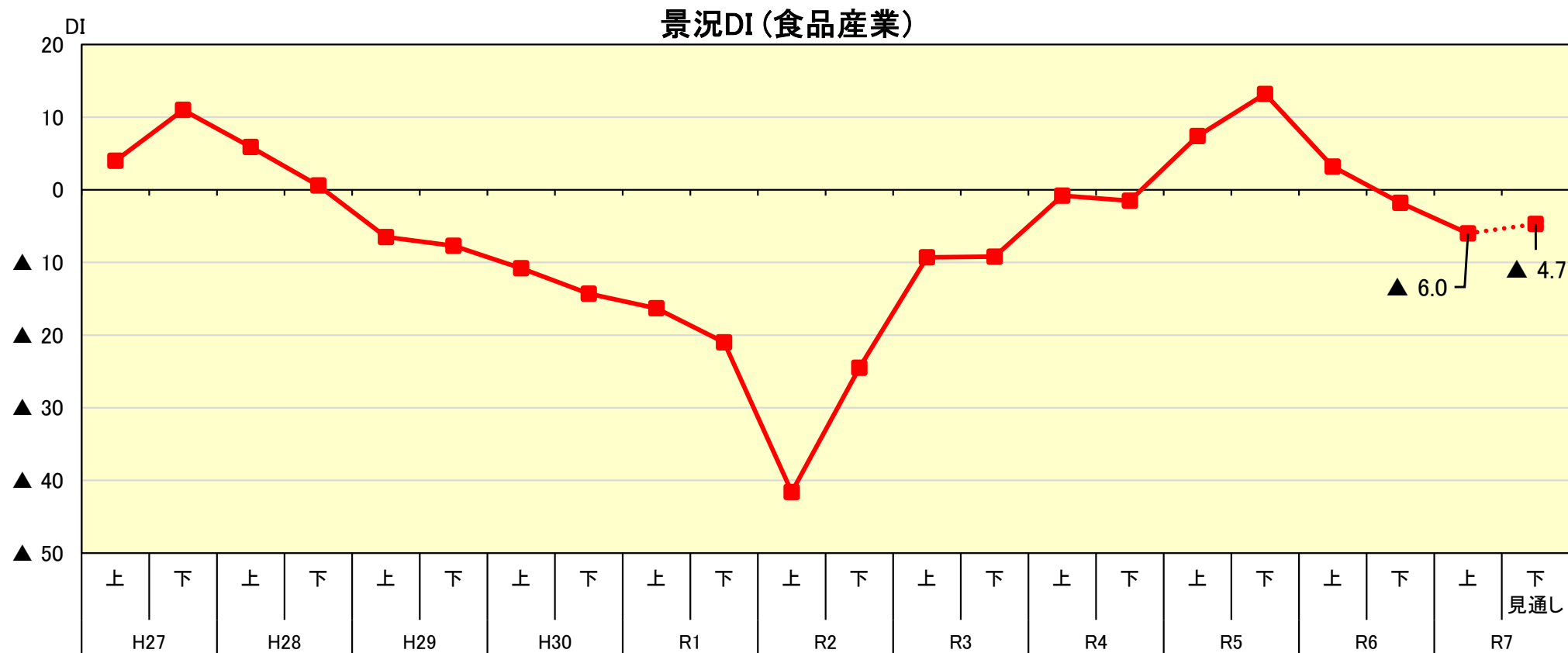
I . 食品産業の景況について(景況DI)

【令和7年上半期実績】

・景況DI(食品産業)は、前回(令和6年下半期)から4.2ポイント低下して▲6.0となり、前回に引き続きマイナス値となった。

【令和7年下半期見通し】

・景況DI(食品産業)は、令和7年上半期から1.3ポイント上昇して▲4.7となり、引き続きマイナス値で推移する見通し。



	令和2年 上半期	令和2年 下半期	令和3年 上半期	令和3年 下半期	令和4年 上半期	令和4年 下半期	令和5年 上半期	令和5年 下半期	令和6年 上半期	令和6年 下半期	令和7年 上半期 実績	令和7年 下半期 見通し
食品産業	▲ 41.6	▲ 24.5	▲ 9.3	▲ 9.2	▲ 0.8	▲ 1.5	7.4	13.2	3.2	▲ 1.8	▲ 6.0(-4.2)	▲ 4.7(+1.3)

※景況DIは、売上高DI、経常利益DI、資金繰りDIを単純平均して算出し、前年同期と比べた景況(今回調査では令和6年1～6月比)および景況見通し(今回調査では令和6年7～12月比)を表している。

()は前回との差

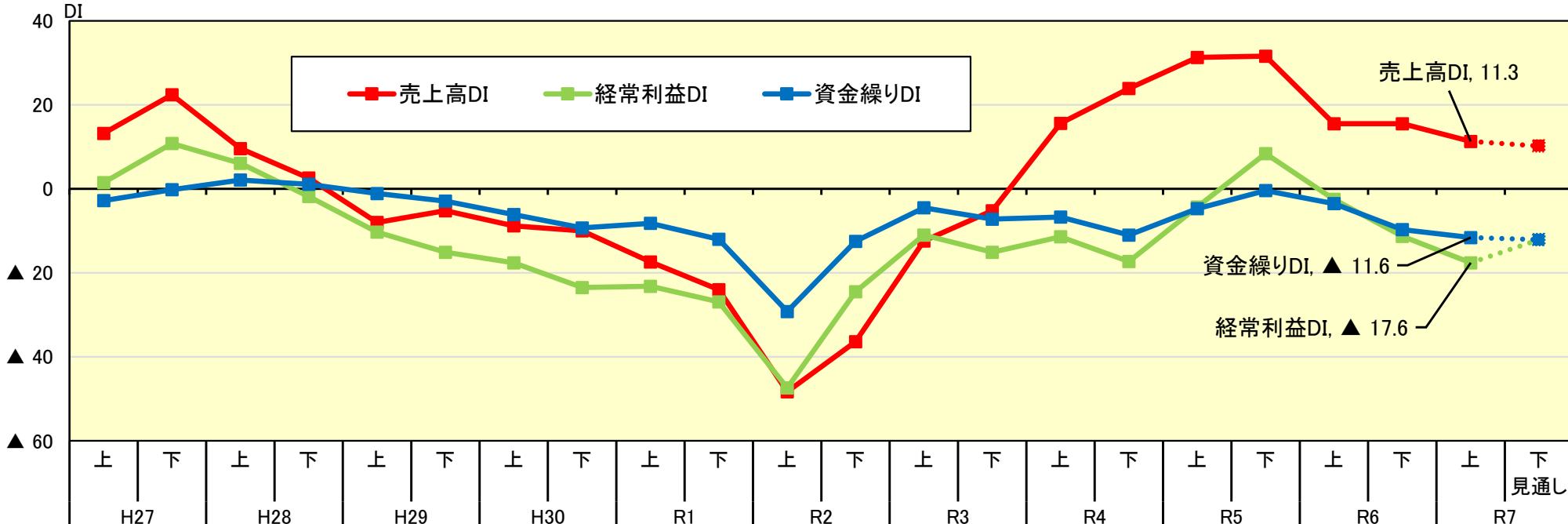
I . 食品産業の景況について(売上高DI・経常利益DI・資金繰りDI)

【令和7年上半期実績】

- ・売上高DIは、前回(令和6年下半期)から4.2ポイント低下し、11.3となった。
- ・経常利益DIは、前回(令和6年下半期)から6.3ポイント低下し、▲17.6となった。
- ・資金繰りDIは、前回(令和6年下半期)から1.9ポイント低下し、▲11.6となった。

【令和7年下半期見通し】

- ・売上高DIは、令和7年上半期から1.1ポイント低下し、10.2となる見通し。
- ・経常利益DIは、令和7年上半期から5.5ポイント上昇し、▲12.1となる見通し。
- ・資金繰りDIは、令和7年上半期からほぼ横ばいで推移し、▲12.1となる見通し。



		令和2年 上半期	令和2年 下半期	令和3年 上半期	令和3年 下半期	令和4年 上半期	令和4年 下半期	令和5年 上半期	令和5年 下半期	令和6年 上半期	令和6年 下半期	令和7年 上半期 実績	令和7年 下半期 見通し
食品産業	売上高DI	▲ 48.3	▲ 36.4	▲ 12.4	▲ 5.2	15.6	23.9	31.3	31.6	15.5	15.5	11.3(-4.2)	10.2(-1.1)
	経常利益DI	▲ 47.4	▲ 24.5	▲ 11.0	▲ 15.1	▲ 11.4	▲ 17.3	▲ 4.3	8.4	▲ 2.5	▲ 11.3	▲17.6(-6.3)	▲12.1(+5.5)
	資金繰りDI	▲ 29.2	▲ 12.5	▲ 4.5	▲ 7.2	▲ 6.7	▲ 11.0	▲ 4.7	▲ 0.4	▲ 3.5	▲ 9.7	▲11.6(-1.9)	▲12.1(-0.5)

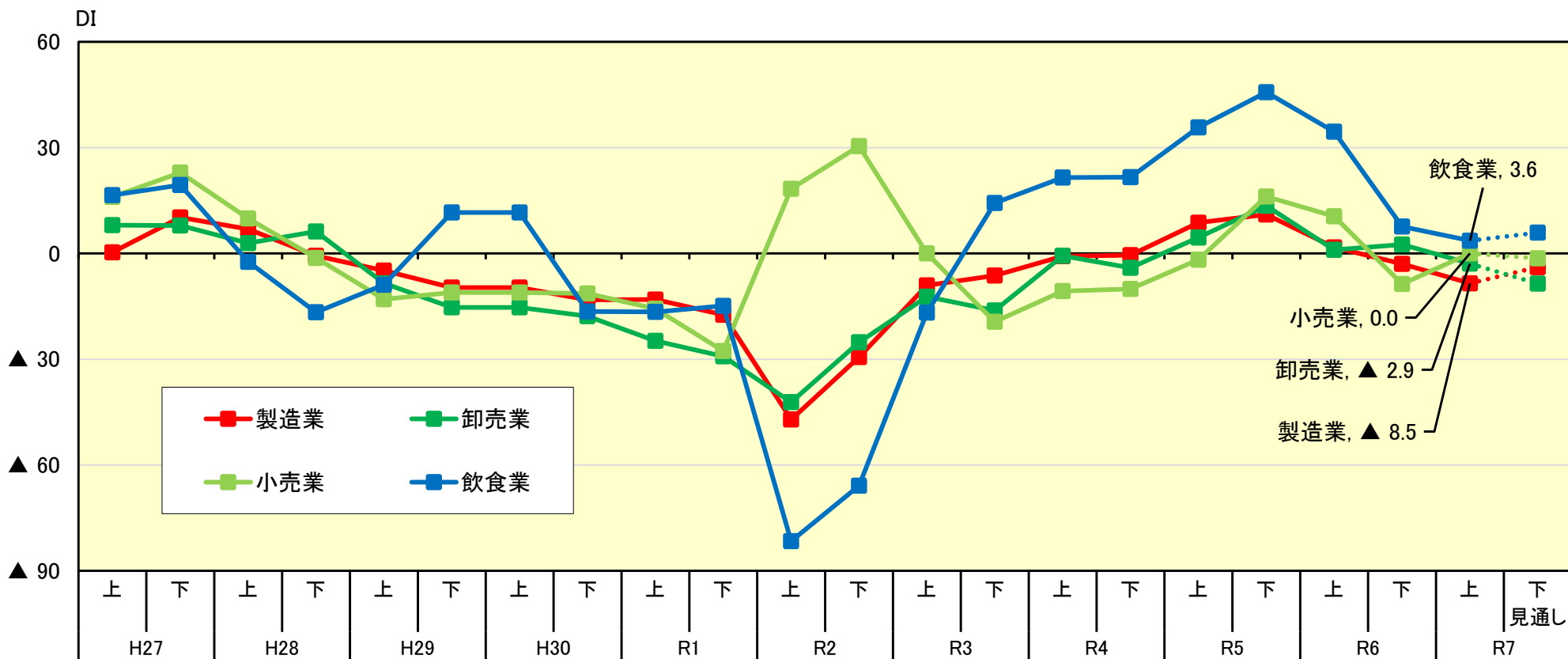
I . 食品産業の景況について(業種別景況DI)

【令和7年上半期実績】

・業種別景況DIは、製造業、卸売業、飲食業が前回（令和6年下半期）から低下した。一方、小売業は前回から上昇した。

【令和7年下半期見通し】

・業種別景況DIは、卸売業と小売業が令和7年上半期から低下し、製造業と飲食業は上昇する見通し。



	令和2年 上半期	令和2年 下半期	令和3年 上半期	令和3年 下半期	令和4年 上半期	令和4年 下半期	令和5年 上半期	令和5年 下半期	令和6年 上半期	令和6年 下半期	令和7年 上半期 実績	令和7年 下半期 見通し
製造業	▲ 47.1	▲ 29.4	▲ 9.1	▲ 6.3	▲ 0.8	▲ 0.5	8.7	11.0	1.7	▲ 3.0	▲ 8.5(-5.5)	▲ 3.9(+4.6)
卸売業	▲ 42.2	▲ 25.2	▲ 12.3	▲ 16.2	▲ 0.7	▲ 4.1	4.5	13.5	1.0	2.5	▲ 2.9(-5.4)	▲ 8.6(-5.7)
小売業	18.3	30.4	0.0	▲ 19.4	▲ 10.7	▲ 10.1	▲ 1.8	16.1	10.5	▲ 8.7	0.0(+8.7)	▲ 1.4(-1.4)
飲食業	▲ 81.6	▲ 65.9	▲ 16.8	14.3	21.5	21.6	35.7	45.7	34.5	7.6	3.6(-4.0)	5.9(+2.3)

()は前回との差

【参考】食品産業の景況について(景況DI業種別詳細)

業種／業態		景況		売上高		経常利益		資金繰り		業種／業態		景況		売上高		経常利益		資金繰り	
		令和7年 上半期 実績	令和7年 下半期 見通し	令和7年 上半期 実績	令和7年 下半期 見通し	令和7年 上半期 実績	令和7年 下半期 見通し	令和7年 上半期 実績	令和7年 下半期 見通し			令和7年 上半期 実績	令和7年 下半期 見通し	令和7年 上半期 実績	令和7年 下半期 見通し	令和7年 上半期 実績	令和7年 下半期 見通し	令和7年 上半期 実績	令和7年 下半期 見通し
製造業	食肉加工品	 ▲ 4.7	 6.4	 16.4	 25.5	 ▲ 18.9	 1.8	 ▲ 11.7	 ▲ 8.1	卸売業	各種商品	 0.0	 ▲ 3.2	 21.3	 11.2	 ▲ 16.4	 ▲ 12.9	 ▲ 4.9	 ▲ 8.0
	牛乳・乳製品	 0.0	 1.2	 23.2	 26.8	 ▲ 16.0	 ▲ 10.7	 ▲ 7.2	 ▲ 12.5		穀類・豆類	 42.7	 3.7	 62.5	 23.4	 56.2	 ▲ 3.1	 9.4	 ▲ 9.3
	水産食品	 ▲ 16.8	 ▲ 15.2	 ▲ 6.0	 ▲ 2.0	 ▲ 26.8	 ▲ 25.2	 ▲ 17.5	 ▲ 18.3		青果物	 ▲ 5.4	 ▲ 15.7	 2.2	 ▲ 14.5	 ▲ 11.3	 ▲ 21.1	 ▲ 7.0	 ▲ 11.4
	農産保存食品	 ▲ 9.5	 ▲ 15.4	 7.1	 ▲ 10.6	 ▲ 17.0	 ▲ 22.4	 ▲ 18.6	 ▲ 13.3		食肉	 ▲ 10.5	 ▲ 4.8	 7.2	 15.7	 ▲ 30.0	 ▲ 20.0	 ▲ 8.6	 ▲ 10.0
	調味料	 ▲ 6.6	 ▲ 1.9	 15.9	 16.8	 ▲ 21.5	 ▲ 11.2	 ▲ 14.1	 ▲ 11.2		生鮮魚介	 ▲ 19.0	 ▲ 14.6	 ▲ 19.0	 ▲ 8.9	 ▲ 28.0	 ▲ 20.8	 ▲ 10.0	 ▲ 14.0
	糖類	 ▲ 8.3	 4.2	 ▲ 12.5	 ▲ 12.5	 ▲ 12.5	 25.0	 0.0	 0.0		その他生鮮品	 ▲ 40.6	 ▲ 21.9	 ▲ 52.9	 ▲ 17.2	 ▲ 45.5	 ▲ 22.9	 ▲ 23.5	 ▲ 25.7
	精穀・製粉	 10.3	 ▲ 4.8	 40.4	 2.4	 2.4	 ▲ 12.0	 ▲ 11.9	 ▲ 4.7		その他飲食品	 6.7	 2.8	 25.0	 14.3	 1.2	 2.4	 ▲ 6.0	 ▲ 8.3
	パン	 3.0	 ▲ 9.1	 27.3	 0.0	 ▲ 9.1	 ▲ 9.1	 ▲ 9.1	 ▲ 18.2		(卸売業計)②	 ▲ 2.9	 ▲ 8.6	 7.7	 0.5	 ▲ 9.8	 ▲ 14.9	 ▲ 6.5	 ▲ 11.5
	菓子	 ▲ 3.9	 0.7	 15.2	 20.0	 ▲ 16.7	 ▲ 8.1	 ▲ 10.3	 ▲ 9.8	② 関の係 業うち 者市場	うち市場開設兼卸売	 ▲ 17.9	 ▲ 25.2	 ▲ 26.1	 ▲ 30.5	 ▲ 21.7	 ▲ 30.5	 ▲ 5.8	 ▲ 14.5
	油脂	 ▲ 33.3	 ▲ 33.3	 ▲ 33.3	 ▲ 33.3	 ▲ 44.5	 ▲ 44.4	 ▲ 22.2	 ▲ 22.2		うち市場卸売	 ▲ 19.7	 ▲ 18.6	 ▲ 12.8	 ▲ 16.2	 ▲ 31.8	 ▲ 23.2	 ▲ 14.6	 ▲ 16.4
	めん類	 ▲ 3.2	 2.5	 13.2	 26.4	 ▲ 7.6	 0.0	 ▲ 15.1	 ▲ 18.9		うち市場仲卸	 2.9	 ▲ 8.7	 10.0	 0.0	 0.0	 ▲ 18.8	 ▲ 1.4	 ▲ 7.4
	冷凍食品	 2.3	 24.9	 13.6	 37.3	 ▲ 5.1	 32.2	 ▲ 1.7	 5.1		(小売業計)③	 0.0	 ▲ 1.4	 29.8	 22.5	 ▲ 19.9	 ▲ 15.1	 ▲ 10.0	 ▲ 11.5
	炊飯・そう菜	 ▲ 0.9	 ▲ 1.0	 27.0	 21.9	 ▲ 20.3	 ▲ 14.1	 ▲ 9.4	 ▲ 10.9		(飲食業)④	 3.6	 5.9	 39.1	 36.5	 ▲ 21.9	 ▲ 15.6	 ▲ 6.3	 ▲ 3.2
	飲料	 ▲ 7.4	 1.8	 5.6	 13.5	 ▲ 19.5	 ▲ 5.4	 ▲ 8.3	 ▲ 2.7		(食品産業計)①～④計	 ▲ 6.0	 ▲ 4.7	 11.3	 10.2	 ▲ 17.6	 ▲ 12.1	 ▲ 11.6	 ▲ 12.1
	酒類	 ▲ 26.6	 ▲ 20.7	 ▲ 13.5	 ▲ 6.7	 ▲ 40.5	 ▲ 23.4	 ▲ 25.8	 ▲ 32.1										
	その他	 ▲ 3.2	 8.1	 18.0	 25.0	 ▲ 15.8	 2.7	 ▲ 11.9	 ▲ 3.3										
(製造業)①		 ▲ 8.5	 ▲ 3.9	 9.1	 11.5	 ▲ 20.4	 ▲ 10.5	 ▲ 14.2	 ▲ 12.8										

お天気マークは、DI値によって次のとおりとしています。

 ≤ -20 <  ≤ -5 <  < 5 ≤  < 20 ≤ 

I . 食品産業の景況について(仕入価格DI・販売価格DI・販売数量DI)

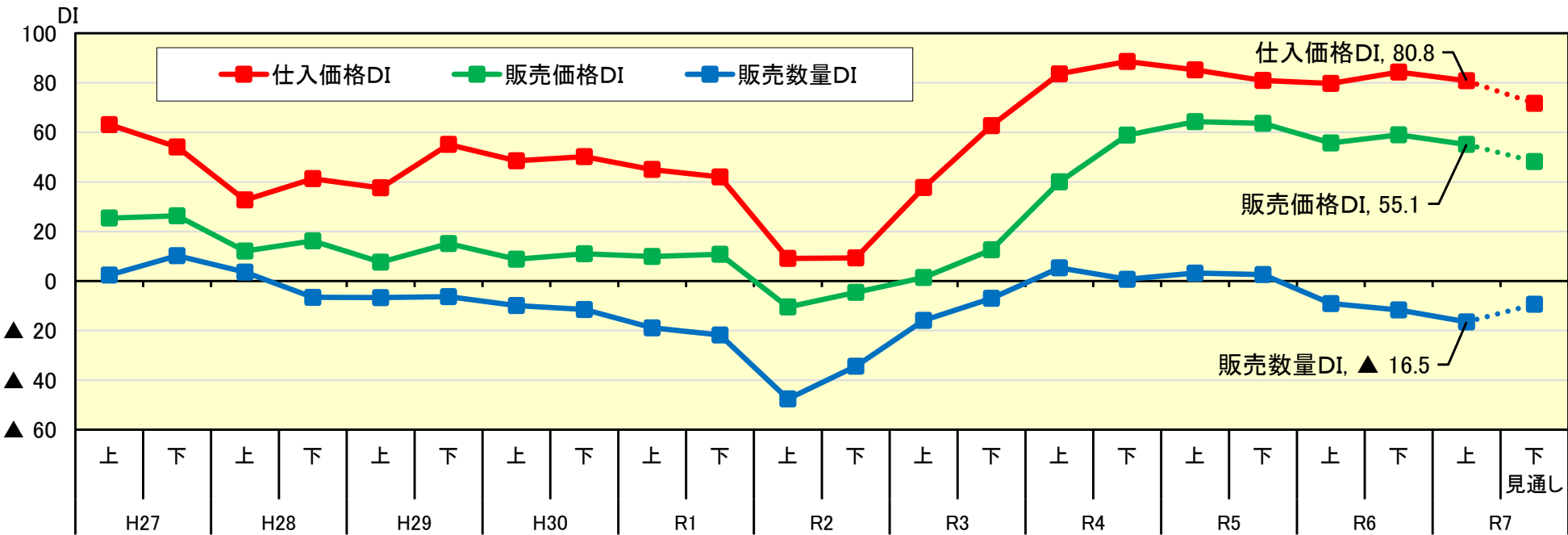
※「増加・上昇」の割合から「減少・低下」の割合を引いた値

【令和7年上半期実績】

- ・仕入価格DIは、前回(令和6年下半期)から3.5ポイント低下し、80.8となった。
- ・販売価格DIは、前回(令和6年下半期)から3.9ポイント低下し、55.1となった。
- ・販売数量DIは、前回(令和6年下半期)から4.8ポイント低下し、▲16.5となった。

【令和7年下半期見通し】

- ・仕入価格DIは、令和7年上半期から9.1ポイント低下し、71.7となる見通し。
- ・販売価格DIは、令和7年上半期から6.9ポイント低下し、48.2となる見通し。
- ・販売数量DIは、令和7年上半期から7.1ポイント上昇し、▲9.4となる見通し。



	令和2年 上半期	令和2年 下半期	令和3年 上半期	令和3年 下半期	令和4年 上半期	令和4年 下半期	令和5年 上半期	令和5年 下半期	令和6年 上半期	令和6年 下半期	令和7年 上半期	令和7年 下半期 見通し
仕入価格DI	9.1	9.3	37.7	62.7	83.6	88.6	85.2	80.9	79.7	84.3	80.8(-3.5)	71.7(-9.1)
販売価格DI	▲ 10.5	▲ 4.6	1.4	12.6	40.0	58.9	64.3	63.6	55.7	59.0	55.1(-3.9)	48.2(-6.9)
販売数量DI	▲ 47.6	▲ 34.4	▲ 15.9	▲ 7.0	5.3	0.7	3.2	2.6	▲ 9.1	▲ 11.7	▲ 16.5(-4.8)	▲ 9.4(+7.1)

()は前回との差

I. 食品産業の景況について(業種別 仕入価格DI・販売価格DI・販売数量DI)

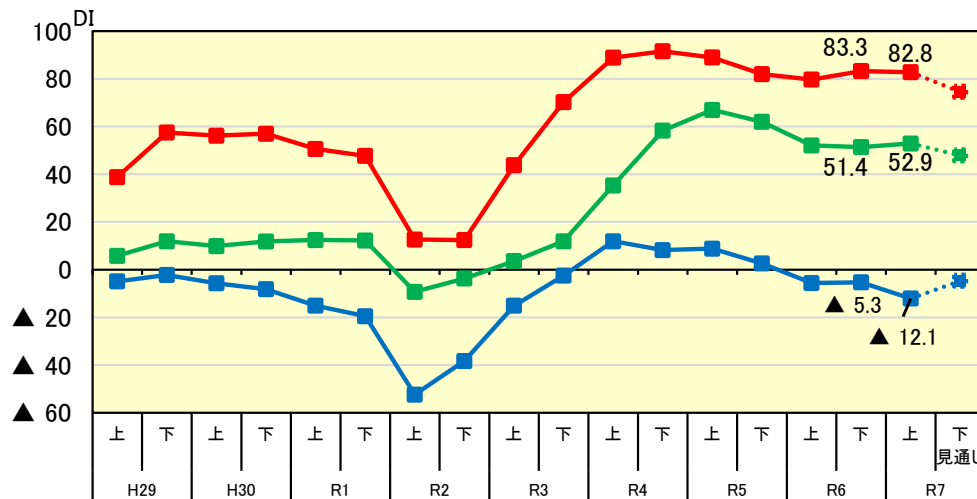
※「増加・上昇」の割合から「減少・低下」の割合を引いた値

【令和7年上半期実績】

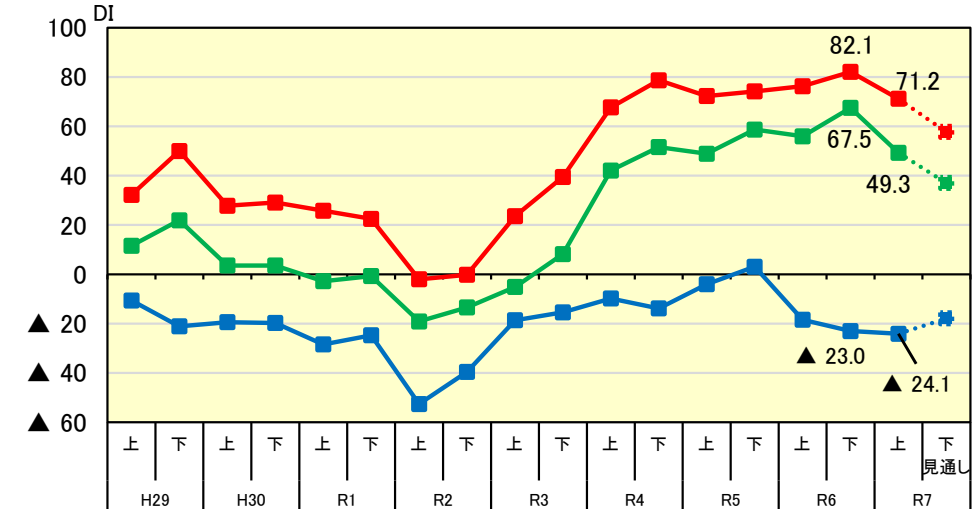
- ・仕入価格DIは飲食業(96.9)で最も高く、次いで小売業(90.6)、製造業(82.8)、卸売業(71.2)の順となった。
- ・販売価格DIは飲食業(82.8)で最も高く、次いで小売業(81.1)、製造業(52.9)、卸売業(49.3)の順となった。
- ・販売数量DIは製造業、卸売業、小売業においてマイナス幅が増加した。

■ 仕入価格DI ■ 販売価格DI ■ 販売数量DI

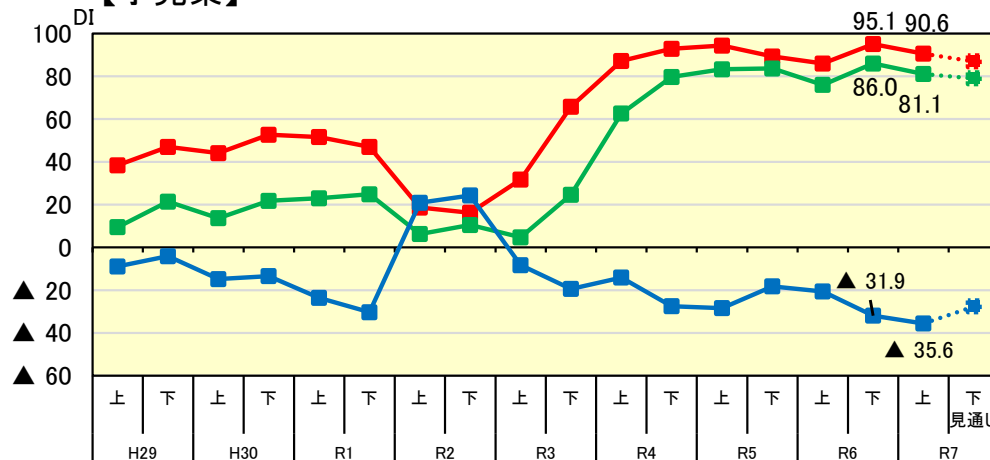
【製造業】



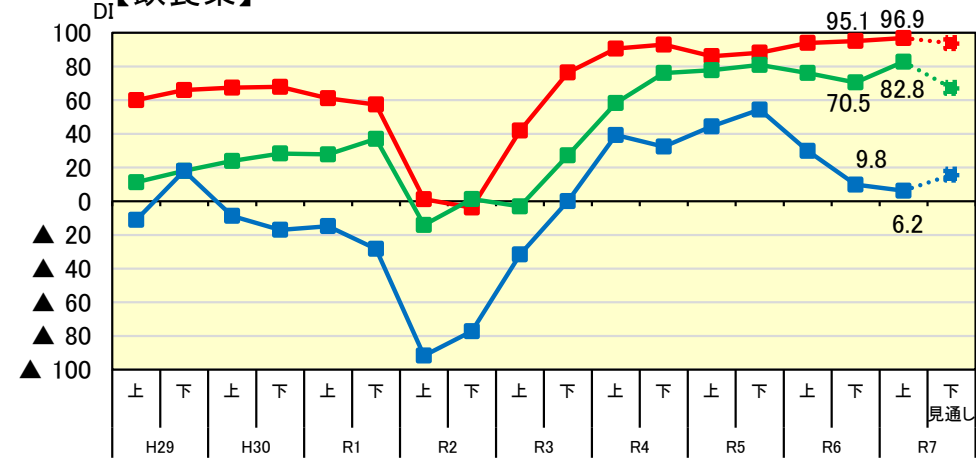
【卸売業】



【小売業】



【飲食業】



I. 食品産業の景況について(雇用判断DI)

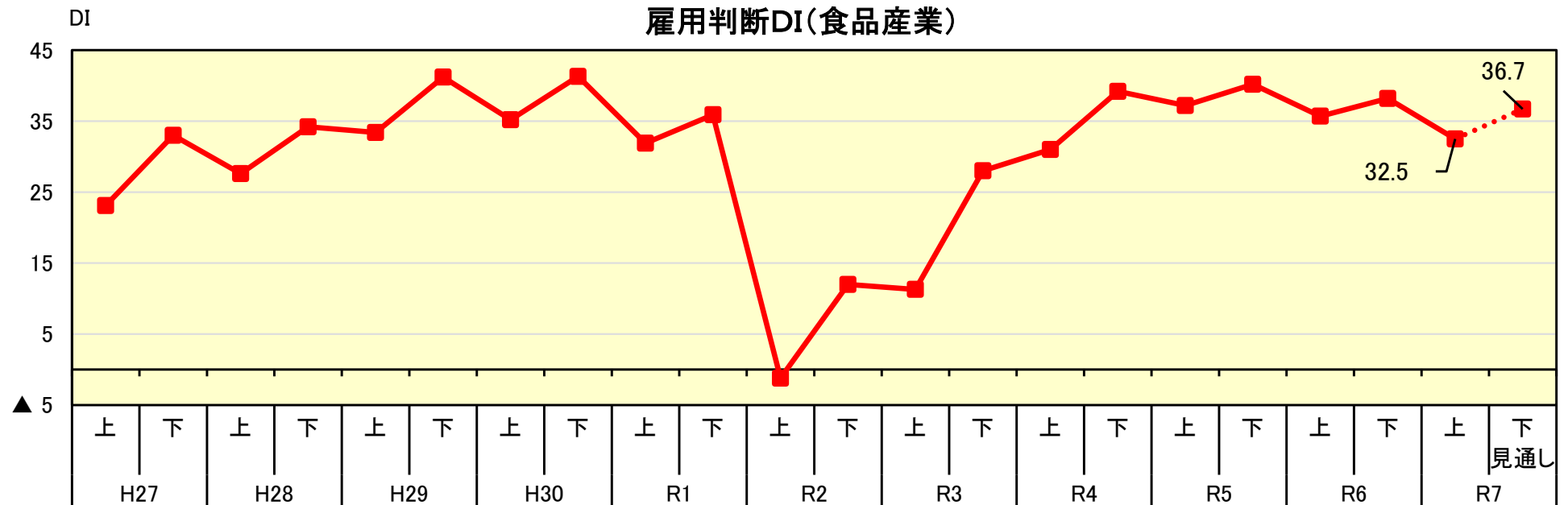
※「不足」の割合から「過剰」の割合を引いた値

【令和7年上半期実績】

・雇用判断DIは、前回(令和6年下半期)から5.7ポイント低下し、32.5となった。

【令和7年下半期見通し】

・雇用判断DIは、令和7年上半期から4.2ポイント上昇し、36.7となる見通し。



	令和2年 上半期	令和2年 下半期	令和3年 上半期	令和3年 下半期	令和4年 上半期	令和4年 下半期	令和5年 上半期	令和5年 下半期	令和6年 上半期	令和6年 下半期	令和7年 上半期 実績	令和7年 下半期 見通し
食品産業	▲ 1.2	12.0	11.3	28.0	31.0	39.2	37.2	40.2	35.7	38.2	32.5(-5.7)	36.7(+4.2)
うち製造業	▲ 6.7	9.3	8.3	26.4	29.0	40.3	35.5	36.6	31.7	34.9	29.0(-5.9)	32.5(+3.5)
うち卸売業	6.5	14.4	14.5	29.1	28.3	30.4	32.2	40.3	33.7	37.5	30.8(-6.7)	35.8(+5.0)
うち小売業	24.4	27.0	24.2	31.5	43.6	45.9	48.1	48.9	57.9	54.9	53.9(-1.0)	58.1(+4.2)
うち飲食業	13.9	8.8	10.2	47.1	57.0	69.0	84.7	86.8	76.5	68.9	65.7(-3.2)	75.0(+9.3)

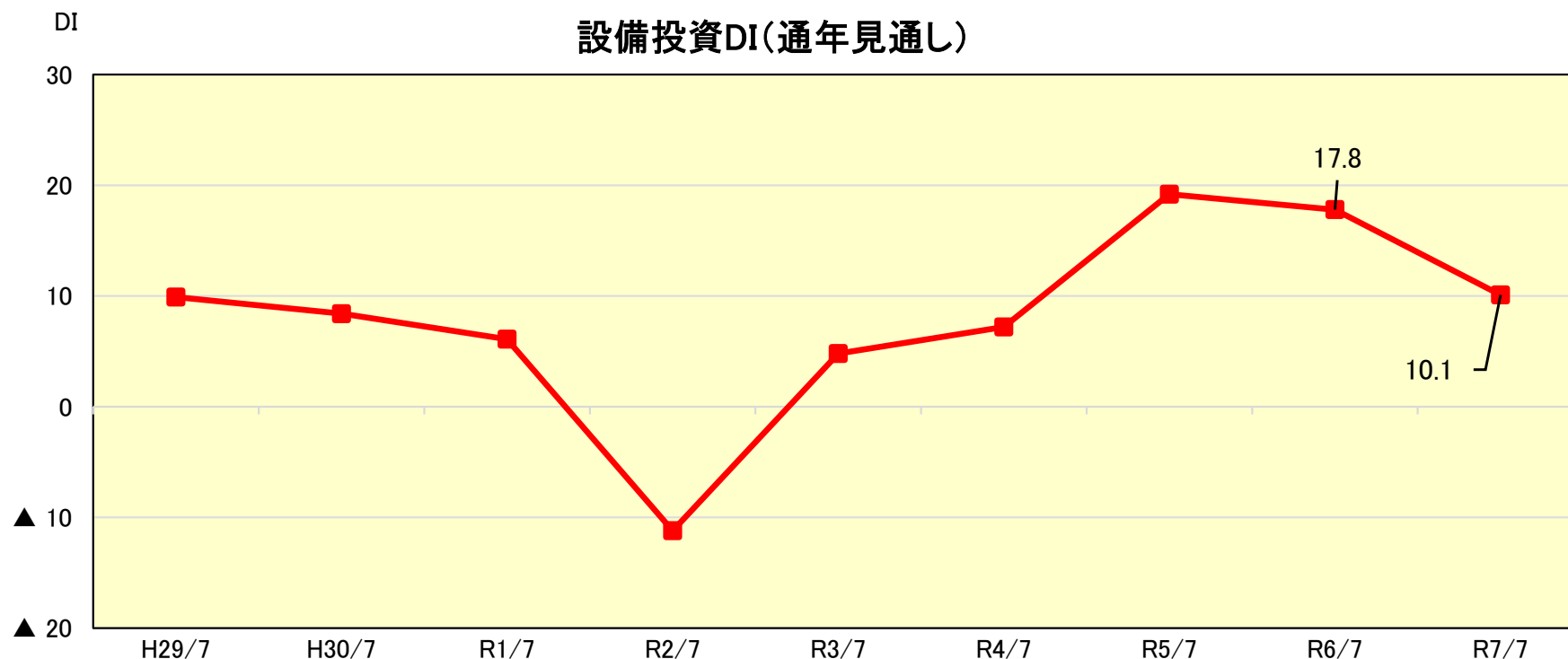
() は前回との差

I. 食品産業の景況について(設備投資DI)

※「増加」の割合から「減少」の割合を引いた値

【令和7年通年見通し】

・設備投資DIは、前年(令和6年通年見通し)より7.7ポイント低下し、10.1となったがプラス値を維持。



	平成29年7月	平成30年7月	令和元年7月	令和2年7月	令和3年7月	令和4年7月	令和5年7月	令和6年7月	令和7年7月
食品産業	9.9	8.4	6.1	▲ 11.2	4.8	7.2	19.2	17.8	10.1(-7.7)
うち製造業	10.5	9.0	7.3	▲ 12.1	5.4	7.7	21.2	19.5	10.3(-9.2)
うち卸売業	5.3	2.8	1.2	▲ 7.9	2.2	4.1	14.4	11.0	7.9(-3.1)
うち小売業	15.5	19.1	13.0	▲ 6.8	9.7	9.1	16.8	21.9	10.5(-11.4)
うち飲食業	20.0	12.8	0.0	▲ 30.6	1.1	17.9	26.4	27.9	26.6(-1.3)

()は前年との差

※7月調査における設備投資DIを「通年見通し」とする。

Ⅱ．今後の経営発展に向け取り組みたい課題等について（3つまで回答可）

・今後の経営発展に向け取り組みたい課題は、製造業では「商品・生産物の見直し、開発」と回答した割合が最も高く、次いで「人材確保」となった。卸売業、小売業、飲食業では「人材確保」と回答した割合が最も高く、次いで「人材育成」となった。

		商品・生産物の見直し、開発	販路の多様化	輸出促進	原料・商品の安定調達	原料・商品の調達先との連携強化	価格転嫁	人材確保	人材育成	省力化・省人化	設備合理化・増強	物流の合理化	資金繰りの安定	資本増強	その他
製 造 業	令和5年7月	43.8	19.2	20.8	30.9			41.7	33.1	27.9	24.9	8.0	11.8	3.0	0.8
	令和6年1月	42.0	18.7	21.4	26.5	17.1		41.2	37.3	24.8	24.3	3.7	12.4	2.6	0.6
	令和6年7月	44.1	18.5	21.0	27.9	14.7		36.6	36.6	27.5	24.4	4.7	12.1	2.2	0.3
	令和7年1月	45.8	17.7	18.8	29.9	13.8		38.3	35.6	30.3	24.0	4.3	13.7	2.4	0.6
	令和7年7月	40.1	17.8	18.4	28.4	12.1	32.1	37.6	29.6	25.1	20.3	4.5	13.6	2.1	0.3
卸 売 業	令和5年7月	32.3	24.0	13.2	32.3			45.9	37.4	17.5	12.7	28.3	13.4	4.3	0.7
	令和6年1月	30.8	20.2	11.2	27.6	28.6		44.9	40.4	14.8	12.4	12.8	17.3	3.8	1.1
	令和6年7月	28.2	20.7	11.8	28.2	26.2		39.7	40.7	18.7	10.5	18.9	14.8	2.0	0.5
	令和7年1月	27.5	21.1	10.7	32.3	22.2		48.0	37.9	17.6	13.3	16.6	16.8	2.4	0.4
	令和7年7月	24.5	19.7	10.3	31.7	21.4	28.2	44.1	38.6	15.9	10.1	16.1	14.6	1.8	0.3
小 売 業	令和5年7月	47.4	19.5	5.1	23.7			50.2	50.2	27.0	18.1	14.4	10.7	4.7	0.9
	令和6年1月	35.0	15.8	4.0	16.9	14.7		49.2	54.2	28.2	19.2	8.5	14.1	5.1	1.7
	令和6年7月	40.0	14.5	3.0	17.5	15.0		49.0	55.5	34.5	20.5	7.5	7.5	6.5	1.0
	令和7年1月	40.9	16.7	4.3	18.3	14.5		51.6	48.4	38.2	19.4	11.3	11.3	4.3	0.5
	令和7年7月	37.7	10.5	3.7	25.1	12.0	23.0	50.8	47.6	33.0	18.3	7.3	11.0	4.2	0.5
飲 食 業	令和5年7月	41.7	30.6	5.6	27.8			76.4	45.8	20.8	12.5	2.8	9.7	1.4	1.4
	令和6年1月	35.8	25.4	3.0	23.9	11.9		73.1	52.2	32.8	10.4	1.5	10.4	1.5	0.0
	令和6年7月	35.3	26.5	2.9	33.8	5.9		69.1	47.1	20.6	8.8	2.9	11.8	1.5	0.0
	令和7年1月	39.3	13.1	4.9	32.8	14.8		68.9	42.6	18.0	9.8	1.6	19.7	4.9	0.0
	令和7年7月	25.0	20.3	4.7	34.4	6.3	31.3	75.0	46.9	23.4	9.4	0.0	9.4	0.0	0.0

※「原料・商品の調達先との連携強化」の選択肢は、令和6年1月調査より設定。
 ※「価格転嫁」の選択肢は、令和7年7月調査より設定。
 ※回答した割合が高い上位2項目について、高い順に濃い色で網かけを行った。